

雲北陵月報

No. 400

平成30年12月21日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

未来につながる「今」を見据えて

進学指導部長 岡 由美子

少し前、物置の掃除をしていたら、古いものを入れていた箱の中から中学生の私が書いたらしい進路志望調査の紙が出てきました。見てビックリ！そこには「声優」と書いてあったからです。家に残っていたものなのでしょう。そんな希望を持っていたことすら私自身すっかり忘れていました。高校に進学後、進路志望は二転三転した末、最後に「文学者」となりました。要するに、将来を見据えた進路選択はあまりできていなかったということです。決まったのはただ何を勉強するかということだけ。時代が違えば、将来の仕事と直に繋がる技術や資格の取得を視野に入れて進学先を決定する生徒の皆さんの姿を目にするたび、昔の自分と比較して、すごいなあと思っています。でもその一方で、興味がある、勉強してみたいと思う内容が見つかるだけでも新たな学びのスタート地点に立っているのではないかとも思うのです。勉強の本当のおもしろさは実際にやってみないとわからないというのが、私自身大学に進学して感じたことでした。

今、受験が変わるうとしています。受験のシステムが変わることの是非についてはなかなか判断の難しいところですが、学ぶというものの本質を考えると、高校時代に将来必要となる学びの姿勢や土台をしっかりと作っていかせよう

という方向性には共感できます。ITの発達で様々な情報を得られるようになり、私達は「知識」を身につけるのは比較的容易な社会に生きています。問題は「知識」をどう活用するか。学校においても「知識・技能」を活用していくための「思考力・判断力・表現力」等を養うことが重要視され、そのような力を問う問題が入試に出題されていきます。そして、もう一つ、一般入試を含め、「学びに向かう力・人間性」が調査書や志望理由書などを通して問われるようになっています。高校生活における諸活動を通じてどのような力が身についたのかを振り返ると同時に、今後どのような活動に取り組めばいいのかを考え、記録するという行為は、自分の成長を意識し、学びに対する主体的な姿勢を養っていくうえで非常に大切なことです。それはまさに、進学後の学びに向けてのスタート地点に立つことであると思います。振り返りを記録した「ポートフォリオ」(個人の活動記録)を土台に中身の濃い志望理由書を作成することも可能になるでしょう。積極的に様々な体験に取り組み、充実した高校生活を送ることが未来に繋がっていくのです。

今後の入試では、皆さんの日常的な高校生活が益々重みを持つものになっていきます。我々も皆さんの一日一日を大切に、夢の実現に向けてしっかりとサポートしていきたいと思っています。

進学状況

お茶の水女子大に初の合格者！
他国公立大学合格の朗報続く！

国公立大学では、お茶の水女子大学、島根大学、愛知県立芸術大学に既に合格を決めるなど、今年度3年生は幸先の良いスタートを切った。

中でも、お茶の水女子大学には本校初の合格者を出すことができた。合格した福田珠希(35期)は出雲北陵中の出身であり、本校で6年間培った力を生かし、難関突破を成し遂げた。また、私立大学についても、日本大学、京都外国語大学、広島修道大学をはじめ、志望校合格の朗報が次々と届いている。合格者の多くに共通しているのは、志望校への熱い思いを持ち、地道な努力を重ね、充実した高校生活を送っていることである。後輩の皆さんも後に続いて欲しい。

【国公立大学】お茶の水女子大学・島根大学・愛知県立芸術大学
【私立大学】日本大学・創価大学・神奈川大学・京都外国語大学・京都橘大学・大阪音楽大学・川崎医療福祉大学・吉備国際大学・広島修道大学・広島経済大学・安田女子大学・福山平成大学 など
【短期大学】島根県立大学短期大学部・大阪健康福祉短期大学・関西女子短期大学・川崎医療短期大学・美作短期大学 など

就職状況

就職内定100%達成(11月末付)

9月16日以降、就職試験が開始され、ほとんどの生徒が第一希望の企業から内定をいただいております。

【県外】陸上自衛隊・県共立メンテナンス・医療法人社団元気会横浜病院・(株)ジェイアール西日本米子メンテナンス・(有)TOTOS A・(株)美旺

【県内】日本郵便中国支社(株)(2名)・島根農業協同組合出雲地区本部・(株)出雲村田製作所(3名)・(株)ジェイ・エム・エス出雲工場・(株)ダイハツメタル出雲工場(2名)・ヒラタ精機(株)(2名)・島根ナカバヤシ(株)出雲工場・(株)びんごや・一畑電車(株)・KBツツ

井上美代教諭 全国4位に



皇后盃第63回全日本なぎなた選手権大会
去る12月2日(日)、千葉県浦安市運動公園総合体育館で行われた全日本なぎなた選手権大会において、本校なぎなた部の顧問である井上美代教諭が準決勝まで勝ち進んだものの、4位の成績を収めた。

女子バスケットボール部

平成30年度出雲地区高校バスケットボール新人大会
12月15・16日
於 出雲高校体育館

予選トーナメント
本校 74 - 36 出雲
決勝リーグ
本校 7067 - 5357 大 社
本校 出雲商

優勝
※県新人戦ベスト4シード獲得
○大会総評

大社戦では思うようなプレーができず苦しんだが、出雲商戦では前半から自分達のプレーができた。どの試合でも自分達のバスケットができるよう今後練習に励みたく。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方々から応援いただき有難うございました。(顧問 篠原勝利)

お知らせ

別所美喜子教諭 メディア出演

TBSの人気テレビ番組「消えた天才」超一流が勝てなかった人 大追跡」に、本校の別所美喜子教諭が出演することになりましたので、ぜひご覧ください。

放送日時 1月13日(日)
19時00分〜20時54分※予定

テニス部

中国高校新人大会

於 時 11月17日
竹ヶ端運動公園

〈男子シングルス〉

1回戦

吉岡七生(15北)
岡 航輔(25北)

⑥12 折田(宇部)
2回戦 ⑥6 笠岡(米子北)

吉岡七生 3-1(4)(RET) 福田(広島学院)
〔男子ダブルス〕

1回戦

北村洸瑠(24北)・藤原大知(24北)

0-6 森脇・森脇(岩国)

○大会総評

先日団体戦3位入賞の自信からか、敗れはしたが、北陵らしいテニスはできたと思う。
(顧問 石川剛巨)

第14回北陽マラソン大会

於 時 12月2日
スパーク出雲

〈高校男子の部3km〉
布野隆省(21北) 1位

今年も好天に恵まれ、スパーク出雲、島根県立大学周辺を回るコースで、小学生から一般まで約400名の選手が力走した。本校からは陸上競技部と野球部が出場し、久々に優勝者も出た。



力走する布野選手

また、閉会式前には本校吹奏楽部のマーチングが披露され、ランナーにとってマラソンの疲れを癒すひとときとなった。
(陸上競技部顧問 別所美喜子)

第27回浜田・益田間駅伝競走大会

於 時 12月9日
浜田・益田

布野隆省 大社チーム代表として出場

大社チーム 14位
布野 7区 20位

(三保三隅駅)ゆうひパーク三隅前)

美術部

第51回島根県総合美術展(県展)

於 時 11月17~25日
島根県立美術館

島根県が主催する県総合美術展に本校からデザイン部門に4点、彫刻部門に1点出品をしたところ、全作品が入選した。一般の公募展に入選できたことは、生徒達にとって大きな自信となった。また顧問の田部講師も彫刻部門に出品し、見事銅賞を受賞した。



田部温子の彫刻作品「CORE」

彫刻部門
銅賞 田部温子(顧問)
入選 原雪希菜(36南)

デザイン部門
入選 鬼村真悠(36南)
原田佳林(36南)
中山七海(36北)
樋野綾香(36北)

第51回島根県高校美術展

於 時 12月14~17日
島根県立美術館

絵画・デザイン・彫刻・工芸の各部門に全県の美術部員から549点の応募があり、盛大に島根県高校美術展が開催された。本校からも46点を出品、36点が入選したが、全国高等学校総合文化祭への作品推挙には一歩及ばなかった。

薬物乱用防止啓発用ポスターで

島根県健康福祉部長賞を受賞!!

全県から126点の応募があり、本校からは、中島歌穂(26南)の作品が健康福祉部長賞を受賞した。また田部愛華(16北)と原舞夏(16南)が佳作に入賞した。ポスターは今後、県内4会場で展示される予定である。



中島歌穂の作品

カンス同好会

鳥巣コミュニティセンターの方々とともに
出雲市民余芸大会に参加

於 時 12月9日
出雲市民会館

高校の部員である田原友香(21北)、椿麻依(12北)、山田琴未(12南)の3名と顧問の八木講師が鳥巣コミュニティセンターの職員の方々とともに出雲市民余芸大会に参加し、ダンシングヒーローと林木音頭の二曲を踊った。



(顧問 八木世津子)

第61回ビジネス文書実務検定合格者

於 時 11月25日

〈2級合格者〉
柳谷音羽(31後)
〈3級合格者〉
高橋響(21南)、小川 稔(21北)、河上哲也(21北)
安立 聖(21北)、濱村壮一郎(21北)、福島悠太(21北)
高橋季空(21北)、布野隆省(21北)、矢野龍生(21北)
藤江俊介(21北)、齊藤唯奈(21南)、高橋楓恋(21南)
奥井結香(21北)、永瀬歩奈(21北)、松林美来(21南)
土江萌子(21南)、錦織真白(24南)
米井杏華(21北)、錦織真白(24南)
〈3級部門別合格者〉 4名

保育実習

先般、高校2・3年生普通コースの保育系列選択者が、市内2ヶ所の保育園でそれぞれ今年度2回目の保育体験実習を行った。今回は、担当クラスの日程に沿った活動の他、手作りおもちゃを使った遊びや、絵本の読み聞かせなどをさせていただいたが、子ども達の年齢や場



面に応じた言葉かけ、接し方など、多くのことを学ばせていただくことができ、貴重な体験となった。実習施設の皆様には大変お世話になり、有難うございました。

学校開放美術講座

於 時 11月23日
本校美術棟

美術の基礎である素描について一般参加者は木炭で、中学生参加者は鉛筆で、それぞれ熱心に作品制作に取り組んだ。上達が何え、実りある講習になった。次年度も開催を予定しており、多くの方に受講していただければ幸いです。

税の作文

〈中学校〉
11月30日、本校にて「中学生の税についての作文」の表彰式が行われ、左記の賞をいただいた。併せて、全国納税貯蓄組合連合会より本校へ感謝状が贈られた。



【受賞者】
○出雲地区納税貯蓄組合連合会会長賞 手銭杏佳(33北)
○出雲地区納税貯蓄組合連合会優秀賞 本田真央(43南)、佐々木凱音(43北)
糸賀遥奈(43南)
○公益社団法人出雲法人会優秀賞 荒木天花(41南)、加田 凜(43南)
諸井咲人(43南)

高等学校

「税に関する高校生の作文」に応募したところ、本校から木柩野々花(15北)が出雲税務署奨励賞に選ばれた。受賞に際し、出雲税務署から2名が来校され、本校で表彰式が行われた。



高校 新生徒会長・副会長決定

生徒会長選挙の公示を受け4名の生徒が立候補し、12月3日の立会演説会で全校生徒に思いを訴えて選挙戦がスタートした。11日の投票により次のように決定した。次年度は「平成」から新たな時代への架け橋の年となり、本校にとっては創立百周年を迎える記念イヤーでもある。生徒会長を中心に2名の副会長が力を合わせ、次年度の生徒会を盛り立ててくれることを期待したい。

生徒会長 山本 駿介(22歳)
副会長 吉岡 丈瑠(24歳)
副会長 松本 澄佳(25歳)

中学校 新生徒会三役決定

12月3日に行われた生徒会長選挙の結果、次の生徒が選出された。

○生徒会長 三宅輝也(中2)



私は、この中学校を「活力あふれる中学校」にしたいと思っています。生徒一人ひとりが行事の準備や日々の生活など様々な場面で、自らが積極的に活動できるような環境をつくっていきたいです。そして、生徒会の中心として、明るく、笑顔が絶えないような、より良い中学校をつくっていきけるように頑張ります。

○副会長 衣笠ことね(中2)



私は、この学校をより良くして行くために、生徒会長をしっかりサポートするのはもちろんのこと、生徒会だけではなく全校みんなが学校づくりができるように働きかけをしていきます。

○副会長 奥田林太朗(中1)



私は、去年の副会長だった三宅さんのように、生徒会長が仕事をしやすいようにサポートしていきたいです。また、生徒会で一人、学年が異なりますが、進んで意見を出すようにします。

○議長 園山瑞希(中2)



私は、自分の役割は責任を持ってやり、全員が楽しいと思えるような学校づくりに努めます。

演奏会のお知らせ

本校吹奏楽部と合唱部がそれぞれ左記のコンサートを開催致します。皆様のご来場を関係者一同、心よりお待ちしております。是非お越しください。

吹奏楽部

出雲北陵高等学校吹奏楽部

ウィンターコンサート

日 時: 12月22日(土)
昼の部 13時30分開場 14時00分開演
夜の部 18時00分開場 18時30分開演
場所: 出雲市市民会館大ホール
賛助出演: 出雲北陵高等学校なぎなた部
入場料: 無料



合唱部

出雲北陵中学・高等学校合唱部

クリスマスコンサート

日 時: 12月24日(月)
13時00分開場 13時30分開演
場所: ビッグハート出雲 白のホール
入場料: 無料



中学校

卓球部

第41回島根県中学校選抜卓球大会

時 12月8日
於 江津市民体育館

(男子団体)

優勝(2年ぶり6回目)

※全国大会出場決定

【出場メンバー】

杉浦大和(中2)、藤村隼翔(中2)

三宅輝也(中2)、佐藤卓斗(中1)

西田有輝(中1)、森口 諒(中1)

(男子シングルス)

優勝 杉浦大和

3位 森口 諒

○大会総評

2年ぶりに団体優勝することができた。協力してくれた三宅君に感謝したい。(顧問 相場翔太)

女子バスケットボール部

第20回島根県選抜バスケットボール大会

時 11月23日
於 鹿島総合体育館

各市郡で選抜チームを作り、試合を行った。本校からは春日美津紀(中2)、桐原七海(中2)、兵庫萌々(中2)、山根百華(中2)の4人が参加し、結果、出雲選抜Aチームが優勝した。また、島根県選抜チーム(12名)に春日が選出され、3月28日(30日)に行われる第32回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に参加することになった。県の代表としての自覚を持ち、試合に臨んでもらいたい。(顧問 三島圭一朗)

テニス部

MUFジュニアトーナメント県予選

時 12月8・9日
於 松江総合運動公園

(15歳以下男子シングルス)

4位 駿馬怜人(中1)

ベスト16 石川泰丞(中2)

第2回校外講師特別講座

「ボランティア体験学習」

時 11月29日
於 中高棟

昨年度に続き、出雲市ボランティアセンターを窓口として、9名の講師の方にご協力いただいた。

生徒達は、学年あるいはクラス毎に、点字、手話、青年海外協力隊、デিজィ図書、高齢者疑似体験の中から2つの講座を受講し、ボランティアの意義を学ぶとともに、日々活動しておられる講師の方々の想いを知ることができた。

閉講式では、「世界の中には、同じ世代の子ども達が、学校も行けず働いていないのを知り、私達は恵まれていることを痛感した」、「手話を教わったが、耳の聞こえない人には手話はもちろんのこと他にも伝える手段があることを初めて知った」などお互いの感想を伝えあっていた。

作品と研究

出雲税務署奨励賞

「税」を知ることの大切さ

木挽野々花(15歳)

平成31年より消費税が増税されることになりました。税金は社会をよりよいものにするために国民が出し合っているお金ですが、私は消費税が10パーセントに引き上げられると聞いて買い物の度に今までよりたくさんのお金を払わなくてはならないのは生活が苦しくなる要因として考えてしまい、快く思えませんでした。

しかし、税金は私達が暮らしやすい社会を作るための様々なしくみに使われているということを知りました。例えば、税金のおかげで図書館が建てられ、お金を払わなくてもたくさん本を借りることができます。私は中学生の時図書館で職場体験をさせてもらいました。その時に、職員の方から昔は本一冊借りるのにもお金がかかっていたという話を聞き、驚きました。今はただで本を借り、様々な情報を得ることが出来ます。本の貸し出し以外でもパソコンを使うことが出来たり、調べものが出来たり、色々な活用方法があることが分かりました。本当に有り難いことだと気づき、良い体験となりました。

納税は法で義務として定められています。税金を払うのが嫌だからサービスを受けないという考えはいけないことで、みんなが平等に税金を払う必要があります。そこで、税金

を払わなければならないというマイナスな思考をするのではなく税金の使い道を知り、様々なサービスがあることをもっと知ってそのサービスを広く活用して欲しいと思いました。私が増税に否定的な考えを持つのも税金の使い道についてよく知らなかったからだと思います。今、当たり前のように安全で便利な暮らしを送ることができていますが、それは国民一人ひとりが、一生懸命働いて税金を納めてくれるから出来ていることだと思います。そのことに感謝して、日々生活していきたいと思えました。そして、いつか社会に出て働くときにはきちんと税金を納め、少しでも社会やみんなの役に立てる様に生きたいと思いました。

出雲地区納税貯蓄組合連合会長賞
税金について考える

手銭杏佳(43歳)

普段、スーパーの商品についている消費税などの税金は一体どんなことに使われているのでしょうか。私達が何気なく毎日使っている道路や信号、橋などの建設物や学校、教科書も税金が使われています。また、私達の医療費や年金、子育て支援など、すべての人の生活に使われています。税金とは、私達の暮らしをより良いものにするために支えてくれているのです。その他にも、税金があることで、人の健康や生命を守ったり、安全や公共の場所などの維持にも助けられています。

私は、年に2回徳島にいる祖父母

の家に帰っています。四国にある祖父母の家に向かうとき、私は、瀬戸大橋を通ります。岡山県と香川県を結ぶ瀬戸大橋を通ることを楽しみにしています。なぜなら、瀬戸大橋の下にある与島パーキングエリアから見る瀬戸内海がとても壮大で、すてきだからです。瀬戸大橋は、全長13.1キロメートルもあり、工期は9年6か月、総工費は1兆1338億円です。瀬戸大橋開通前は、本州と四国との交通運送はすべて海上運送で、フェリーや連絡船で一時間もかかってしまっていました。開通したことで濃霧や強風、波による大荒れなどの気象条件が影響しなくなったことで、欠航や乗り換え、物の積み替えの待ち時間がなくなり、本州と四国がわずか約10分間で移動でき、大幅な時間短縮となり便利になりました。瀬戸大橋が開通されたことで四国でも、サービス業である第三次産業が発展することになりました。これは、税金があるおかげであり、瀬戸大橋の建設に携わってくださった方のおかげでもあり、税金を納めている国民一人ひとりのおかげでもあると私は思っています。

近年は、異常気象による豪雨により、多くの方の生活が奪われ、長期にわたって避難生活を送り、日常生活を取りもどそうとしておられます。住む家だけではなく、道路、鉄道などの交通の便も被害を受けました。災害にあつた地域の人々が、もう一度過ごしやすい生活が送れるように、道路などを作らなければなりません。そのためには私達にでもできることがあるはずです。募金やボ

ランティア活動、どんな小さなことでも貢献したいと思いました。また、税金を納めることも社会貢献の一つだと思います。

これから消費税が引き上げになることがあるかもしれません。そのときは、家計的には大きな負担になると思います。税金を納めることが、『誰かのため』『何のため』かと考えながら生活していきます。また、自分のためではなく、誰かのために何かを一生懸命できる人になりたいと思います。

第46回島根県高校写真展 入選

今月の1枚

「見たな」

福島 悠太(2-1年)

